

中央労福協 2024全国福祉強化キャンペーン取組方針《ダイジェスト版》



2024年度においては、世代を超えて人と人との新たな“つながり”のあり方をさらに追求するとともに、対面とリモートのベストミックスを通じてすそ野を広げる取り組みを継承する。中央・地方段階において、加盟団体や関係団体、NPO、市民団体など、多様な団体との連携を進め、社会的課題の解決に向けて労福協の役割を果たしていく。

強化期間
10月～11月

共助の輪を広げるとともに、地域のつながりで生活・就労支援に取り組もう！
高等教育費の負担軽減に向け、地域に取り組みを広げよう！

I. 重点活動【ミニマム行動(全国統一行動)・チャレンジ行動】

加盟団体間の連携やハブ機能を発揮する“要”の取り組みに！

1. ミニマム行動(全国統一行動)

- 「奨学金制度改善・教育費負担軽減」運動のさらなる展開に向けた取り組み
高等教育費への公的負担の大幅拡充に向け、「教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピール」への団体賛同、個人署名について、地方段階における取り組みの強化・推進を図る。
「もう悩まないで。奨学金返済Q&A」(改訂版)を活用し、これから奨学金を利用する人や現在返済している人、その家族などを対象に周知広報活動を行い、返済に困っている生活者に寄り添う取り組みを継続する。
- ろうきん、こくみん共済coop等と連携した取り組み
ろうきん「生活応援運動」、こくみん共済coop「防災・減災運動」を積極的に展開し、研修会やセミナー等において組合員・生活者の制度利用の促進を図る。
- 自治体要請行動
「自治体要請参考版」、新たに開設した「労福協政策データベース」を参考に各県において自治体要請項目を策定して要請行動を展開する。



2. チャレンジ行動

新たな取り組みにチャレンジをしよう！

- 協同組合に関する理解促進と連携強化
2025年の国際協同組合年に向け、協同組合への関心が高まっている。「オンライン連続講座～ディーセントワークと社会的連帯経済～」での学びを活かし、これを教材として活用しながら協同組合への理解を深める機会とする。
- 地域活動の実践
①NPO団体や地域組織等、地域とのつながりを促進し、地域の様々なネットワークを拡げていく。
②ろうふくエール基金の助成対象となる事業については、基金を有効活用して地域で活動する団体との連携を深化させていく。
- 地球環境問題の取り組み
①地球環境に対する問題意識の向上に向け、情報発信、学習・啓発を展開する。
②環境省が2022年より提唱する国民運動「デコ活」を参考にし、職場・地域でできる取り組みを話し合い、試行する。
③「地球温暖化防止活動推進センター」とのつながりづくりなどの連携した取り組みを図る。
- 時代に対応したICTやソーシャルメディアの活用
①参加者のすそ野を広げる手法の一つとして、ZoomやYouTube Liveなどのリモートを有効に活用する。
②デジタルネイティブ世代へのアプローチを含む広く社会一般への有効な発信ツールとしてウェブサイトの充実やSNSの一層の活用を図る。
- 認知度向上の取り組み
“きょうちゃん”ノベルティ各種を活用した周知広報を展開し、認知度の向上を図る。



II. 利用促進・共助拡大の取り組み

地域のネットワークを活用し、“つながる運動”を！



1. 労働団体への要請

労働者福祉運動の推進に向け、引き続き、地方段階において加盟労働団体の訪問を実施する。労働金庫、こくみん共済coopの両事業団体と連携した訪問を実施し、地域における労働団体の組織力・動員力の支援を求めながら活動の規模を広げる。

2. 加盟事業団体との連携

地域生協や中小企業勤労者福祉サービスセンターをはじめ加盟事業団体と連携した取り組みを促進する。

III. 中央労福協と連携した取り組み

2025年は
国際協同組合年！

1. 加盟労働団体トップ訪問との連携

中央労福協が実施する加盟労働団体訪問と連携しつつ、地方においても、地方連合会や産別地方組織、単組等に対してキャンペーンの要請を行う。

2. 2025国際協同組合年に向けた情報収集・連携

中央労福協は2025国際協同組合年に係る情報収集を行い、必要な情報を適宜地方へ連携する。地方においても国際協同組合年に向けた機運の醸成や協同組合への理解促進を図る。

3. 中央労福協主催の研修会への参加

「LSC(ライフサポートセンター)実務者・相談員研修・交流会」(10月11日)

4. 研修用教材の活用

- 労福協の歴史やこれまでの活動、2030年ビジョンなどを盛り込んだ「研修用教材スライド版」を活用する。
- 中央労福協講師団講師や推薦講師を活用し、教育研修・人材育成の充実を図る。

全国一体となった
キャンペーン活動を
展開しよう！

